

「平成29年度『学びのスタンダード』推進事業」の推進地域の取組

パイロット校名 相馬市立中村第二中学校、相馬市立中村第二小学校

学習規律の作成と「授業スタンダード」の活用

これまで行われてきた「『つなぐ教育』推進事業」の成果である学校・家庭・地域の連携を生かしながら、「授業スタンダード」を基盤としたより質の高い授業や効果的な家庭学習の実践及び研修の充実に努め、教員の授業改善、指導力向上を図る。



1 推進地域における「授業スタンダード」の活用について

(1) 教員の授業力向上と授業の質的改善

- ① 「授業スタンダード」に基づく授業力の向上
 - ア 興味・関心を高め、追究・解決意欲を引き出す学習課題設定の工夫
 - イ ICT機器の効果的な活用
 - ウ 思いや考えを広め深めるための学習活動の工夫
 - エ 授業の流れがわかる板書の工夫と学習内容の定着を図るためのノート指導

推進構想図

- ② アクティブ・ラーニングの視点からの授業の質的改善
- ③ 研修内容の充実と互見授業による授業力の向上



第1回推進地域研修会

(2) 「つなぐ教育」の成果を生かした小・中学校の連携

- ① 小・中学校共通の学習規律の確立
- ② 小・中学校連携による学習習慣の確立

2 パイロット校の取組内容

パイロット校の推進体制

パイロット校Ⅰの数学

	1組	2組	3組
3年	A先生とC先生のTT		
2年	B先生		
1年	A先生とC先生のTT		

パイロット校Ⅱの算数

	1組	2組
6年	担任とTT	
5年	担任とTT	

〈中村第二中学校の取組〉

(1) 学習規律の確立

小・中学校共通の学習規律を作成し、全教室に掲示した。また、小学校から中学校までに身に付けさせたい基本的学習習慣を確立し、発達段階を踏まえた共通実践に取り組

んだ。

このことにより授業基盤として大切な学習規律を確立することで、授業に臨む姿勢に変化が見られ、落ち着いた態度で授業に取り組むことができた。



学習の心構え

基本的学習習慣

(2) 「授業スタンダード」との関連を位置付けた授業実践 (11月: 推進地域授業研究会)

① 興味・関心を高める課題設定の工夫

ア 教材との出合わせ方…「問い」や「思い・願い」を引き出すために

- ・ 写真、グラフなどを提示し、興味・関心を持たせる
- ・ ICT機器を活用する

イ 課題設定や問題提示の仕方

- ・ 生徒の気付きや発言などを焦点化し、学習課題を設定する



互見授業 (英語)

② 主体的・対話的な学習活動の設定

ア 個に応じた支援

イ ペアやグループでの学び合い活動の設定



公開授業 (数学)

③ 学び続ける態度の育成

ア まとめと振り返りの時間の確保と新たな「問い」を引き出す活動

(3) 「学びのスタンダード」講演会の開催

7月に中村二小・中村二中の教員を対象に、福島大学総合教育研究センター宗形潤子先生をお招きして、次期学習指導要領改訂のポイントや「授業スタンダード」の活用の仕方についてアドバイスいただいた。



講演会の様子

<中村第二小学校の取組>

(1) 問いや思いを引き出す学習課題 (教材提示) の工夫

① 教材との出合わせ方の工夫→児童の興味・関心を高める

ア 生活経験の中からの課題発見

イ 図形やグラフの一部を隠した提示

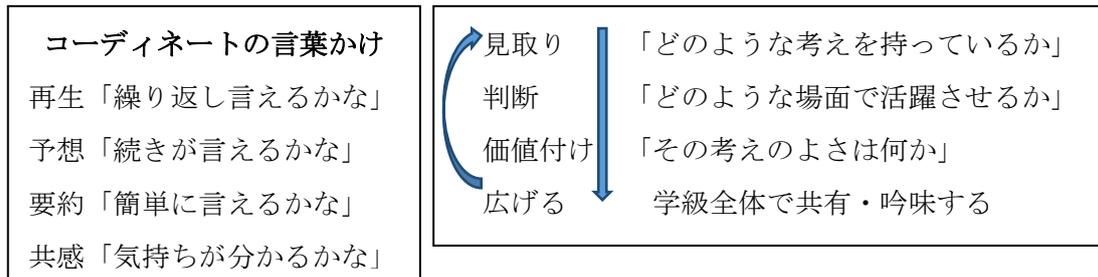
ウ 具体物の提示

エ スモールステップを生かした提示



研究授業 (2年)

(2) 学び合いのためのコーディネートの工夫



(3) 「授業スタンダード」との関連を位置付けた授業実践（11月：推進地域授業研究会）

① 問いや思いを引き出す学習課題の提示の工夫

- ア 単元構想を工夫する
- イ 数学的活動を意図的・計画的に位置付ける
- ウ 既習の内容を活用して新しい知識や方法を生み出そうとする態度の育成を図る
- エ 身に付けた知識・技能を進んで生活や学習に活用しようとする態度を育む



授業公開（3年）

② 学び合いのためのコーディネートの工夫

- ア 既習事項を活用する
- イ 指導内容の焦点化と知識・技能の定着や思考力・表現力の育成を図る
- ウ 互いの思考を表現し、認め合いながら確かな学力の育成を図る
- エ 算数を学ぶことの意義や有用性に気付かせる
- オ 子どもの変容や学び合いのよさをとらえ指導に生かす



授業授業（1年）

3 成果と次年度へ向けて

成果

<中村第二中学校>

- 共に学び合おうとする姿勢が見られるようになった。
- グループ活動や話し合い活動がしやすい環境が整ってきた。
- 落ち着いて授業に取り組み、課題解決に向けて意欲的に取り組む姿勢が見られるようになった。
- 指導方法の工夫等について共有し、教員の指導力向上を図ることができた。

<中村第二小学校>

- 自主学習に復習を取り入れる児童が増えた。
- 生活に結びつけて考えるようになった。
- 下位児童も意欲がとぎれずに参加できるようになった。

- 課題提示の工夫が、児童の主体的な学びへの原動力となり、学びの連続性を引き出すことができた。

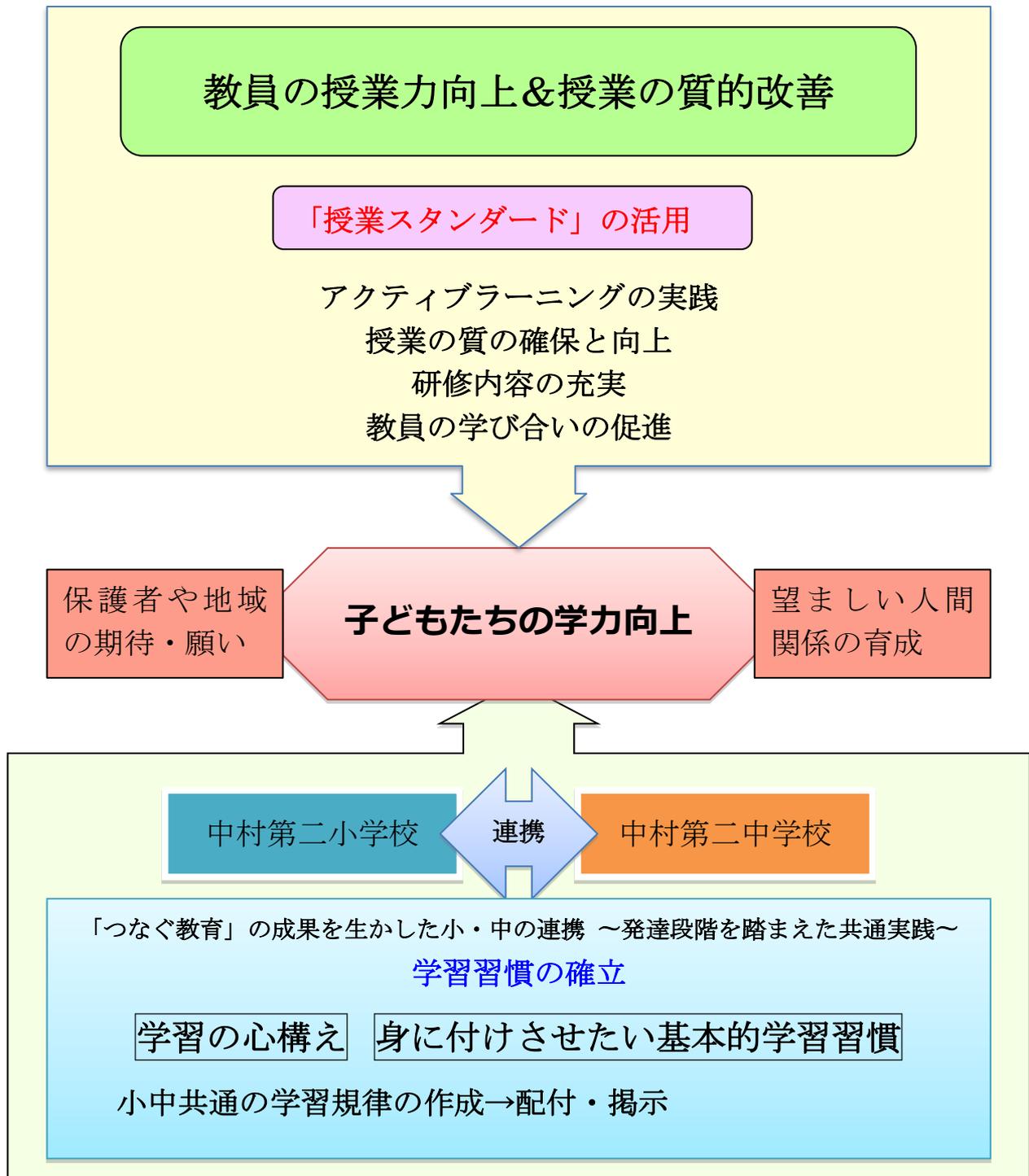
次年度へ向けて

- 授業スタイルの確立（①板書②課題提示と問題提示③見取りと支援④ICT機器）
- 学び合いのための教師のコーディネート工夫
- 校内研修の充実（互見授業の推進・ワークショップ型事後研究会）
- 中村二中・中村二小版「家庭学習スタンダード」の構築

平成29年度

『学びのスタンダード』推進事業 推進構想図

相馬市立中村第二中学校・相馬市立中村第二小学校



【年間を通した取り組み】

- ・アンケート調査の実施（保護者アンケート・教員アンケート・生徒アンケート）
- ・講演会の実施（推進地域研修会） ・授業研究会（小学校・中学校）
- ・校内研修（互見授業） ・研修だよりの発行

『学習の心構え』

相馬市立中村第二中学校

授業に真剣に取り組もう

- 1 先生の話や友だちの意見は姿勢を正してしっかり聞こう
- 2 課題に積極的に取り組もう
- 3 自分の考えを進んで発表しよう
- 4 ノートは授業中にきちんとまとめ、気になったことはメモをとろう
- 5 分からないところは友だちや先生に質問しよう
- 6 授業の終わりに学習したことを振り返ろう

